



八卦台

No. 1 2

平成30年3月28日
男鹿市立潟西中学校

感動の卒業式・決意の修了式

それぞれの春に、力一杯羽ばたく潟中生

校長 森山 直人

三月は、暖かな日差しに心はずむ季節であるとともに、旅立ちの季節でもあります。三月九日、潟西中学校第63回卒業証書授与式を挙行了しました。

卒業証書授与では、卒業生一人一人が、義務教育九年間の成長の証を堂々とした返事と態度で示しました。巣立ちの歌「時を超えて」では、中学校生活を振り返るとともに、将来の夢の実現を互いに応援し合うかのような歌声が体育館一杯に広がりました。涙があふれつつも最高の合唱になりました。

一、二年生は、巣立ちゆく卒業生の姿を目の前にして、潟西中をしっかりと受け継ぎ、伝統を守っていこうという決意を、全校合唱「旅立ちの日に」に込めて誓いました。

卒業生の保護者の皆様、三年間、本校の教育にお子様を託してくださり、また、多方面において多大なご支援をいただき、本当にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

そして、卒業生諸君。皆さんの今後の一層の活躍を期待し、応援しています。いつか必ず、また会いましょう。ご卒業おめでとうございます。

送 辞

弥生、三月。

柔らかく、優しい春の日差しに、寒さに耐えてきた新芽が顔を出し、ようやく春の訪れが感じられる頃となりました。

「うつりゆく 世々のすがたを みちびいて
みどり松かぜ 八卦台」

三年間、教々の思い出とともに歌ってきた校歌を胸に、今日、潟西中学校を巣立つ三十名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、改めて卒業生の皆さんとともに過ごした日々を振り返ってみると、たくさんのことが思い出されます。

学校行事や生徒会活動。皆さんはいつも私たちの先頭に立ち、力強く全校を引っ張っていただきました。

学年の垣根を越え、三つの組で競った体育祭。皆さんが中心となって、何度も練習を重ねたダンスパフォーマンスが思い出に残りました。

一人一人の力を集結し、みんなの笑顔があふれた潟中祭、皆さんの堂々とした素晴らしい歌声や、各部門での活躍に私たち、二年生はただ圧倒されるばかりでした。

そして、全県大会を目指し、自分を高めた部活動。時には厳しく、また時には優しく指導していただきました。先輩方から学んだもの、教えられたものは数えきれません。ともに笑い、ともに泣いたあの日々は、忘れられない宝物です。皆さんのおかげで私たちは部活動の喜びを感じることができました。

今まで本当にありがとうございました。感謝の気持ちで一杯です。

皆さんとお別れしなければならないと思うと、とてもさびしく思います。まだまだ教えていただきたいことがたくさんあるような気がしてなりません。

ですが、これからは、皆さんが築かれた潟西中学校の伝統を、私たちが受け継ぎ、更にすばらしい潟西中学校にしていこうことを、ここにお約束します。

どうか、新しい場所でも、この潟西中学校で得られた、多くの経験や知恵を実践に変えて頑張ってください。困難や壁にぶつかる時もあると思います。そんな時は、この学び舎で過ごした日々を思い出し、力強い一歩を踏み出してください。

卒業生の皆さん今まで、本当にありがとうございました。皆さんの未来へ続く無限の可能性が、光り輝くものであることを願って、送辞といたします。

平成三十年 三月九日 在校生代表 杉本 凜



答 辞

寒さが残りつつも、暖かく柔らかな日差しが、ここ八卦台に降り注ぐ春。この佳き日、私たちは、卒業を迎えました。

三年前の春、少し大きめの制服に身を包み、期待を胸に抱きながら、潟西中学校の門をくぐった入学式。慣れない環境についていくことで精一杯でした。しかし、今となっては、勉強や部活動、学校行事などを通して、多くのことを学んだこの三年間が、あつという間に感じられます。

二年生、誰もが楽しみにしていた修学旅行。秋田とは違いすぎるビルの高さや人の多さ。友達と楽しんだ夢の国。日本の中心東京で、仲間と過ごした楽しい思い出は、私たちにとって、かけがえのないものとなりました。

そして迎えた、三年生。

全校が一体となり、感動と達成感を味わった、体育祭と潟中祭。一人一人がリーダーとして自分たちらしいものにしようとして盛り上げました。三年間で一番心に残る行事となりました。

目標に向かって厳しい練習に打ち込んだ部活動。大会やコンクールでは、良い結果を得ることができ、仲間とうれしさを分かち合ったり、思うような結果を得ることができず、悔し涙を流したりしたこともありました。その中で、目標に向かい、日々精進したという努力の過程は、誰にも奪われない自分の原動力につながり、何ものにも代えがたいものとなりました。

在校生の皆さん、私たちは皆さんにとって、どんな先輩だったでしょうか。足りないところもあつたでしょうが、よい手本となれるよう、できる限り頑張ってきたつもりです。

部活動や行事で皆さんと活動したことは、とても楽しい思い出です。これからも潟西中学校の良き伝統を守り、皆さんらしい色で染めていってください。そして、学校をさらに盛り上げていってください。皆さんならきっとできます。私たちはいつでも皆さんを応援しています。

いつも私たちを導いてくださった、校長先生はじめ先生方。伝えきれないほどの感謝の気持ちで一杯です。どんな時も私たちに寄り添い、勉強はもちろん、人としての在り方も教えてくださいました。時には厳しく、優しく指導していただいたことを誇りに思います。先生方から教わつたことを胸に、これからも、「学ぶ」「挑む」「関わる」を大切にしながら頑張っていきます。

十五年間支えてくれた家族のみんな。迷惑を掛け、心配させてしまつたり、口答えしてしまいいけんかしたりしたことも数え切れないほどありました。しかし、どんな時でも私たちの一番近くで応援し、味方でいてくれました。いつもはなかなか素直になれず、伝えることができませんが今回はこの場を借りて伝えます。今日で義務教育を卒業します。これまで一生懸命育ててくれてありがとうございました。まだまだ未熟者でこれから先もお世話になりますが、もう少し温かく見守っててください。

そして、今日まで三年間、同じ時間を過ごし、同じ教室で学んだ仲間たち。みんなと過ごした三年間の思い出は、一言では言い表せません。あの休み時間の何気ない会話や、毎日通つた学校への道が、今思うと、何物にも代えられない時間だつたと感じています。一人一人の進む道は違ふけれど心はつながっています。互いに力強く進んでいきましょう。

いよいよ、「卒業」の時が来ました。

私たち三十名は、潟西中学校での学びや仲間との思い出を胸に、限りなく広がる未来へ向かつて、今、羽ばたきます。

最後になりましたが、全ての出会いと、私たちを支えてくださった全ての方々に心から感謝を申し上げ、答辞といたします。

平成三十年 三月九日 卒業生代表 尾崎 春菜



平成30年度に向けて、 心新たにスタートだ！

修了式

3月20日（火）平成29年度の締めくくりである修了式が行われました。最初に森山校長から代表（学級委員長）の1年児玉真里衣さん、2年薄田菜那子さんに修了証が授与されました。次に各学年の代表が今年度の振り返りと来年度の抱負を語ってくれました。二人ともとてもしっかりとした内容を立派な態度で発表できました。



森山校長からは、小平奈緒選手（平昌オリンピック、スピードスケート女子500mで金メダル獲得）の心の支えとなったマハトマ・ガンジーの言葉についてお話がありました。生徒たちは、一つ一つの言葉の意味をかみしめながら、明日の自分の糧となるよう、真剣に話を聴いていました。その姿からは、明日の鴻西中学校を背負う決意が見てとれました。



「明日死ぬかのように生きよ。
永遠に生きるかのように学べ。」
(マハトマ・ガンジー)

<学年代表の発表から（抜粋）>

2年生になって頑張りたいことを宣言します。

朝陽の目標その1：勉強について。社会と理科を克服して全教科でいい点数を取りたいです。社会は歴史、理科は物質のところが頑張ります。

朝陽の目標その2：サッカーについて。県リーグで一位を取りたいです。そのためにセンターバックのポジションを極めたいです。

朝陽の目標その3：生徒会について。生徒会活動でもっと活躍したいと思います。ここに立っている僕は真面目な少年に見えるかもしれませんが、クラスでは、いたずら好きのゆかいな少年です。そのキャラクターを生かしつつ、全校のみんなももっと笑顔になるような生徒会にしていきたいです。

この三つを達成できるようにこれからがんばりたいと思います。



1年A組 佐々木朝陽さん



2年A組 渡部 博真さん



僕が2年生になって取り組んだことは、大きく二つあります。一つ目は挨拶です。後期から生活安全委員長になり、挨拶運動をはじめ、学校の中での挨拶を率先して頑張りました。二つ目は、クラスのみならず仲良くすることです。特に、中学校生活で一番楽しみにしていた修学旅行が印象に残っています。東京の街を友達と話しながら歩いたり、ホテルで夜遅くまで話し込んだりなど、楽しいことがたくさんありました。

三年生になって頑張りたいことは、まず第一に部活動です。夏の大会に向けて、一日一日の練習をしっかりとやりたいです。また、いよいよ受験生になるので、勉強をただなんとなくやるのではなく、自分が分かるまで、納得いくまでやりたいと思います。そして、行きたい高校を目指して努力したいと思います。

最上級生としても、行事などでは1、2年生を引っ張っていかなければならないので、そういう心を常にもって、残り1年間を頑張りたいです。

4月の行事予定

1	日	開校記念日 部活動休止日
5	木	新任式 前期始業式
6	金	入学式（新入生16名）
9	月	学校安全点検日 新入生歓迎会
11	水	教職員研修会 3校時限（給食あり）
12	木	I期時間割開始
13	金	防災集会
15	日	部活動休止日
16	月	尿検査
17	火	全国学力・学習状況調査（3年）
18	水	P T A総会
19	木	職員会議
21	土	男鹿潟上南秋中学校春季体育大会（～22日）
23	月	振替休業日（～24日）
25	水	学校納金振替日
27	金	前期生徒会役員任命式 生徒総会
29	日	昭和の日
30	月	振替休日

鴻中Topics



◆3月6日（火）「ようこそ先輩」

3年生が高校入試に臨んでいる日、1、2年生を対象に、「ようこそ先輩！卒業生の体験から学ぼう」を実施しました。今回お招きしたのは、いづれも本校の卒業生で、高校3年生の佐藤晃輝さん（男鹿海洋高校）、加藤涼介さん（男鹿工業高校）、安田菜穂さん（秋田西高校）です。それぞれ就職や進学が決定していて、その準備にお忙しい中、お越しくださいました。



3名の先輩方は、それぞれの高校の様子について、受験勉強について、進路が決まるまでの努力の過程についてなどを熱心に教えてくださいました。



真剣に聞き入っていた1、2年生からは「まだ志望校や将来やりたいことが見付からないのですが、みなさんはいつ頃、どのようにして決めましたか」などの質問がありました。先輩方は、優しく丁寧に答えてくださり、自分たちの1年後、2年後について、実感をもってイメージすることのできる貴重な機会になりました。

栄光の足跡 春季大会に向けて始動！

☆五里合カップバスケットボール大会 女子の部
【準優勝】鴻西中学校女子バスケットボール部 【最優秀賞】2年 杉本 千尋

職員転出のお知らせ

このたびの定期人事異動等により、3名の職員が鴻西中学校を転出することとなりましたので、お知らせいたします。今後の新天地でのご活躍を祈念しております。



主査 相原猛一 先生

この八卦台の地に3年間勤務させていただき、ありがとうございました。毎日、玄関前での生徒の礼儀正しい、明るい挨拶が一日の活力になり、何とか仕事ができたと感じます。

さて、このたび39年間の学校勤務を終え、ここ鴻西中学校を最後に退職することになりました。今までに勤務した学校の中で最も忘れることのできない職場になったと思います。これからも鴻西中学校の大きな発展と生徒の活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

主査の相原猛一先生は、本校で3年間勤務され、このたび、ご退職されます。



校長 森山直人 先生

2年間という短い間でしたが、素直で明るい生徒たち、暖かく献身的な保護者の皆様、心から鴻中を応援して下さる学校運営協議委員の皆様をはじめとした地域の方々、常に生徒のことを第一に思い、尽力してくれる職員に支えられ、楽しい鴻中DAYSを過ごすことができました。あっという間の2年間は、一生のかけがえのない宝物になりました。

どこにいても、いつも鴻西中のことを思い、応援しています。これまでの多大なご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。大変お世話になりました。ありがとうございました。

校長の森山直人先生は、本校で2年間勤務され、総合教育センター主幹にご栄転されます。



教諭 近藤志津子 先生

この八卦台に9年間勤務いたしました。不安を感じながら車を走らせ、鴻西中学校にたどり着いた最初の日。今では雪道のバスとの対向も難なくできるようになり、月日の長さを感じます。

私は「笑顔とけじめのある学年・学級」をモットーに毎日過ごしました。素直でユーモアのセンスあふれる子どもたちと共に生活できたことに感謝いたします。保護者、地域の皆様にはいつも温かい言葉を掛けていただきました。本当にありがとうございました。

研究主任の近藤志津子先生は、本校で9年間勤務され、男鹿市立男鹿東中学校にご栄転されます。